



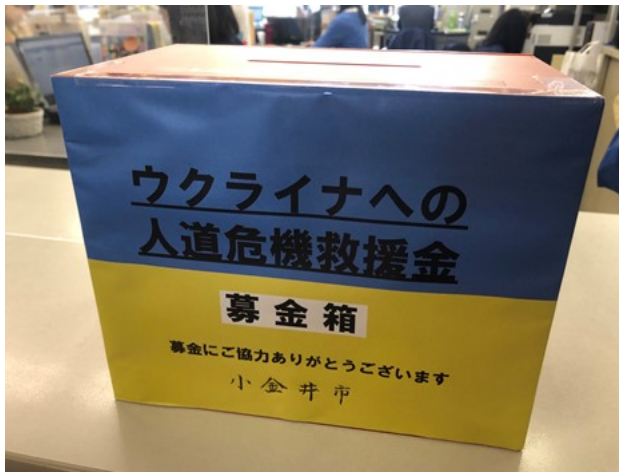
### 小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

#### 「どうなる庁舎建設？ 庁舎等建設に関する協議会」報告号

- 正式名称は庁舎等建設に関する協議会に決定：村山ひでき副座長に就任
- 庁舎建設に向けて全力を傾注することを表明する決議（3月28日：本会議）
- ロシアによるウクライナ軍事進攻に抗議する意見書を全会一致で採択（3月2日）
- 献血のお願い（小金井市役所 本庁舎駐車場：5月10日・11日）

合計7回の準備会議を経て 第1回は5月10日に開催 庁舎建設を協議する場の正式名称は「**庁舎等建設に関する協議会**」に決定

村山ひでき「**庁舎等建設に関する協議会**」副座長に選出される 座長は五十嵐京子議員（自由民主党・信頼の小金井）



3月14日から5月31日までの予定で、平穏な日常生活を奪われてしまったウクライナの方々に対する人道支援を目的として、小金井市役所に募金箱を設置しています。（詳細は裏面参照）

第1回定例会で西岡市長が依頼し、市議会との意見交換を通じて論点を整理し庁舎建設事業を進捗させるために設置されることになった会議体の名称が「**庁舎等建設に関する協議会**」に決まりました。議会側では既に合計7回にわたり、正式に会を立ち上げる前に「何を、どこまで、どうやって、決めるのか？」を合意するための準備会議を重ねており、村山ひできが副座長に選出されました。また、会の位置付けを定めるため、「**庁舎等建設に関する協議会設置に係る協定書**」を市長と議長で締結し、細かい運用は会則で定めることになっています。

前例のないイレギュラーな会議体を設けてまで実施設計が完了している庁舎建設の論点を整理し、着工に向け努力しようというのですから議会の責任も重大です。この点については、第1回定例会の最終日に市議会は全会一致で決議（下記参照）を可決しており、全力を傾注すべきです。

本格的な議論のスタートとなる第1回は5月10日13時の開会予定です。ご注目ください。

#### 庁舎等複合施設の建設に向けて、市長と市議会の協議の場において、着工可能な成案を得られるよう全力を傾注することを表明する決議

本市の庁舎等複合施設建設事業について、西岡市長は、3月16日の市議会（基本構想審査特別委員会）において、「私はこれまで設計等を大幅に見直すことについては否定的でしたが、市議会が可決してきた決議や市民の皆様、市議会からの多様な意見を踏まえて、設計や建設の時期を大胆に見直すことも含め、市議会の皆様と協議を行わせていただくための場を設けさせていただくことをお願い申し上げます」と表明した。同事業はこの発言により大きな転機を迎えることとなった。

また、西岡市長は、この間の自身の市政運営に関して、「合計7回にもわたり、検討に要するお時間をいただいたにもかかわらず、具体的な方針を示すことができずに第1回定例会の議会日程の変更まで余儀なくする結果となり、議会運営への混乱をもたらしたことを深くお詫び申し上げます。そして何よりも市政運営への不安を与えてしまった原因は全て私自身にあります。誠に申し訳ございませんでした」と謝罪。自身の責任を明確にするために、市長給与の減額条例を市議会に提出した。

もとより市政運営は、二代表制の下、執行権を有する市長と議決権を有する市議会がそれぞれ異なる権能を行使して進めているものである。今般のような事態を招来した責任は、直接的にはこの間の市長の市政執行にある。一方、市議会もチェック機能を果たすよう努めてきたが、一定の責任があるものと考えなければならない。

よって、小金井市議会は、西岡市長から求めのある「協議の場」において、多様な意見交換を通じて論点を整理し、真に市民の利益につながる、着工可能な成案を得られるよう全力を傾注することを表明するものである。

以上、決議する。

※鈴木成夫議長を除く全22名の市議会議員が署名しました（現在、欠員1名により小金井市議会は全23名）

# ロシアによるウクライナ軍事進攻に抗議する意見書を全会一致で採択

3月2日、小金井市議会は「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し、平和的解決を求める意見書」を全会一致で可決いたしました。同日に小金井市も市長名でプーチン大統領あてに抗議文を送っており、小金井市議会は、意見書として内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣の3大臣あてに送付しました。

また、3月14日から5月31日までの予定で、平穏な日常生活を奪われてしまったウクライナの方々に対する人道支援を目的として、小金井市役所に2カ所、①本庁舎2階広報秘書課窓口、②第2庁舎1階受付窓口、にて募金箱を設置することになりました。

お寄せいただいた救援金は、すべて日本赤十字社に送金いたしますので何卒よろしくお願いたします。

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し断固抗議し、平和的解決を求める意見書

2022年2月24日、ロシア政府は一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めとした軍事侵攻により多くの無垢の市民が犠牲になっている。

この軍事侵攻は「主権の尊重」、「領土の保全」、「武力行使の禁止」を義務付けた国連憲章に違反するものであり、戦後の平和秩序が壊されようとしていることに対し、満身の怒りを込めて抗議する。ロシア政府は軍事攻撃を直ちに中止し、ロシア軍の即時、完全、無条件の撤退と、国際法に基づく誠意ある外交を強く求めるものである。

また、プーチン大統領は、今回の軍事攻撃に当たり、核兵器使用の可能性について示唆する発言を行っている。我が国は核兵器がもたらした破滅的な被害を知る被爆国であり、核による脅威を振りかざすこのような言動に対しても、断固抗議しなければならない。

世界では、武器支援など軍事による対抗措置や軍備増強の動きが強まっており、更なる戦争拡大の不安も増大している。

よって、小金井市議会は、政府に対し、以下のことを求めるものである。

1 ロシア政府に対し、国際法と国連憲章の下に、市民の命や生活を脅かす軍事攻撃の即時停止と部隊撤収を求めること。

2 憲法の下、対話外交を強め、戦争拡大の回避に最善の努力を尽くすこと。

3 邦人の安全確保に万全を期すこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## ～献血のお願い～

日時：2022年5月10日(火)・11日(水)

9:30～11:30 / 13:00～16:00

会場：小金井市役所 本庁舎駐車場

- ・16歳から64歳までの方が献血可能です  
(60歳代で献血ご経験ありの方は69歳まで)
- ・お薬を服用中の方はご協力いただけない場合があります
- ・新型コロナウイルスのワクチンを接種された方は、**接種後48時間経過で、献血にご参加いただけます**

村山ひできが事務局長を務める小金井市献血推進協議会による献血活動です。たった40分でできる命を救うボランティア。是非ご協力を！

### 献血のおねがい



400mL献血にご協力ください!

医療機関での輸血用血液需要が増加しています

5月10日(火)・11日(水) 9:30～11:30  
13:00～16:00

小金井市役所  
本庁舎駐車場

【問い合わせ先】東京都赤十字血液センター 武蔵野出張所 0422-32-1100(代表)

種別	400mL献血	200mL献血
年齢	男性:17～69歳 女性:18～69歳	16～69歳
体重	男性:50kg以上 女性:45kg以上	女性:40kg以上

### 村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業  
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選  
～(株)ジェイコム東京に入社し会社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ  
民進党の解党とともに無所属に
- 2021年 再選し現在4期目

### 《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にすの会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

### 村山ひでき事務所

〒184-0004  
小金井市本町 6-13-17  
サンライズ武蔵小金井 702  
TEL 042-386-5543  
FAX 042-386-5560  
携帯 090-3428-2715

Eメール  
hideki@murayama.tv  
WEBサイト  
http://www.murayama.tv  
Twitter  
@Murayama\_Hideki  
Facebook  
https://www.facebook.com/hideki.murayama.52